

オープニングセレモニー

2020年4月19日(日)
10:15~11:00
会場 おおやね広場

* 展覧会場一般入場は12:00から

オープニングイベント

2020年4月19日(日) 13:00~13:15
会場 庭園

関 典子(コンテンポラリーダンス)と
山村誠一(スチール・パン奏者)によるコラボレーション
「宝塚のための『白鳥』~rebirth『瀕死の白鳥』~」



関 典子(ダンサー/神戸大学准教授)
宝塚市出身・在住。幼少よりバレエを学び、18歳でコンテンポラリーダンスに転向。
お茶の水女子大学大学院博士後期課程を経て、現在、神戸大学大学院人間発達環境学研究所准教授。
「日本ダンス評論賞」「兵庫県芸術奨励賞」「神戸市文化奨励賞」など受賞。
兵庫県立芸術文化センター所蔵「薄井憲二バレエ・コレクション」キュレーター。

山村誠一(スチール・パン奏者)
ONE HARTZ STEEL ORCHESTRAをはじめ、複数の楽団を主宰。
学校公演やコンサート活動の傍ら、各地でワークショップも開催している。

開館記念シンポジウム

2020年5月24日(日) 14:00~16:00
会場 ガーデンハウス

14:00~14:45
基調講演:北川フラム「地域とアート」

15:00~16:00
対談:北川フラム×加藤義夫(宝塚市立文化芸術センター館長)

北川フラム(アートディレクター)
1946年新潟県生まれ。東京芸術大学美術学部卒業。
アントニオ・ガウディ展、ファール立川アートプロジェクト等をプロデュース。
アートフロントギャラリー主宰。
大地の芸術祭、瀬戸内国際芸術祭他の総合ディレクター。



宝塚市立文化芸術センター開館記念展

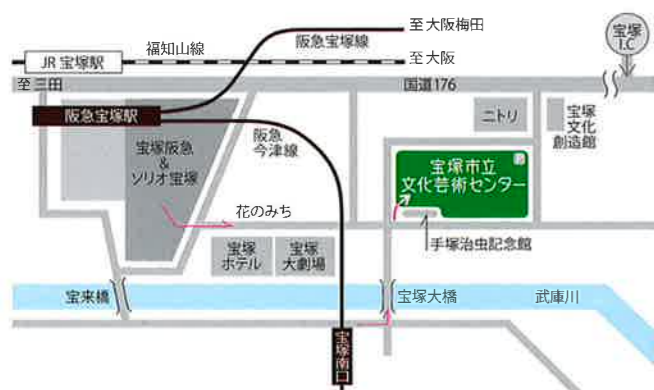
2020年4月19日(日)~6月14日(日)

開館時間10:00~18:00(入場は17:30まで)*4月19日のみ12:00開場
休館日/4月22日、5月13日・20日・27日、6月3日・10日*すべて水曜日

■観覧料/一般1,000円、中学生以下無料 ■会場/メインギャラリー、キューブホール
◇主催/宝塚市立文化芸術センター | 指定管理※ | 宝塚みらい創造ファクトリー ◇後援/神戸新聞社

宝塚の祝祭I Great Artists in Takarazuka

*
Sadamasa MOTONAGA
Tsukasa TSUJI
Etsuko NAKATSUJI
Susumu KOSHIMIZU
Keizo MATSUI
Katsuhiro MIYAMOTO



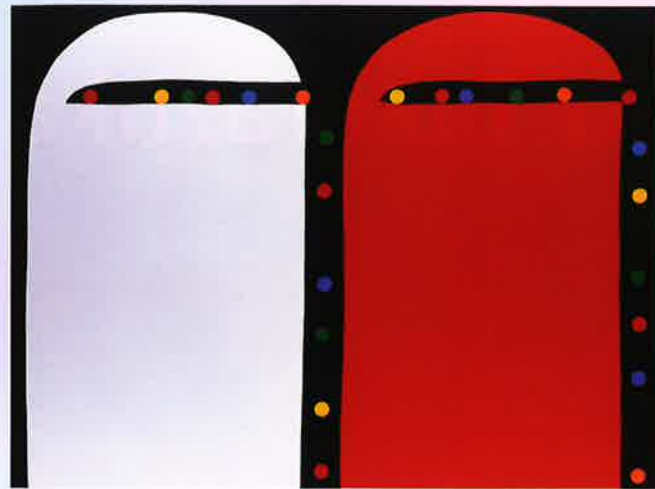
〒665-0844 兵庫県宝塚市武庫川町7番64号 <http://takarazuka-arts-center.jp/>
TEL 0797-62-6800 FAX 0797-62-6880



休館日 毎週水曜日・年末年始・その他臨時休館日あり
開館時間 午前10時~午後6時(入場は午後5時30分まで)
庭園(メインガーデン) 午前10時~午後5時
入場料 企画展・展覧会によって異なります。庭園と共用部分は入場無料
障がい者手帳持参でご本人様、つきそいの方1名まで無料
交通案内 JR・阪急「宝塚」駅 花のみちを通り徒歩13分
阪急「宝塚南口」駅 宝塚大橋を渡り徒歩7分
中国自動車道「宝塚インターチェンジ」から西進2km
駐車場(有料) 普通自動車 12台 大型バス 3台



Takarazuka Arts Center



「いろいろだまよこしろあか」

Sadamasa MOTONAGA



施設のオープンを祝し、世界で活躍する宝塚ゆかりのアーティストの競演をお届けします。本展では、1954(昭和29)年に誕生した宝塚市のあゆみを概観しつつ、グレートアーティストたちの作品を通して、豊かな芸術・文化を生み出した宝塚の魅力をお伝えします。

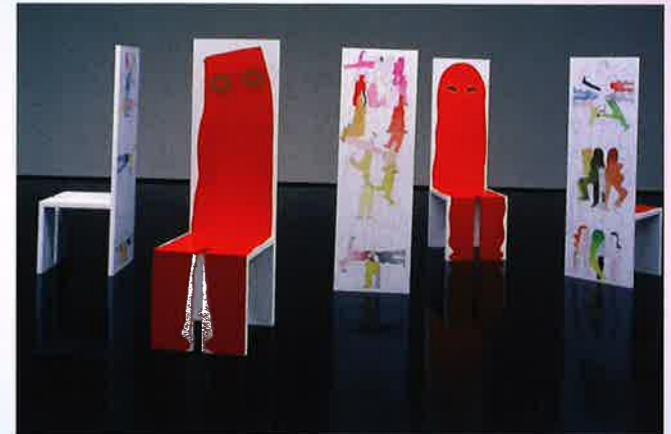
元永定正

1922-2011。三重県生まれ。前衛美術グループ「具体美術協会」の代表的メンバーとして活動。絵本作品においても独創的な作品を送り出した。フランス政府から芸術文芸シュヴァリエ章を受章。紫綬褒章、勲四等旭日小綬章受章。第45回・第53回ヴェネツィア・ビエンナーレ参加。成安造形大学造形学部名誉教授も務めた。

中辻悦子

1937-。大阪府生まれ。平面、立体、素材を問わず、「人のかたち」をテーマにした表現を追求し続けている。絵本など、夫・元永定正氏との共作もある。絵本「よるのようちえん」で第17回プラチスラヴァ世界絵本原画展グランプリ受賞。宝塚市制60周年記念文化功労者表彰。兵庫県文化賞受賞。2001年より宝塚市大使を務める。

Etsuko NAKATSUJI

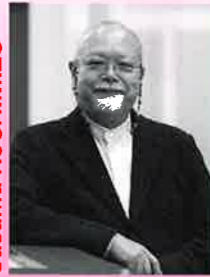


「合図-eyes-ひとのかたち、椅子」 撮影:福永一夫 提供:伊丹市立美術館

小清水漸

1944-。愛媛県生まれ。1970年前後の美術運動「もの派」の中心的アーティストであり、現在も国内外で活躍中。第37回・第39回ヴェネツィア・ビエンナーレ出品。第10回平櫛田中賞受賞。京都府文化賞功労賞、紫綬褒章受賞。京都市立芸術大学名誉教授など歴任ののち宝塚大学学長を務めた。

Susumu KOSHIMIZU



「作業台-表面から表面へ-」



「飛天」

辻司

1933-。大阪府生まれ。行動美術協会会員。全関西展運営委員、日本美術家連盟近畿代表・日本美術家連盟委員(2020年3月現在)。世界を旅し、各地の祭りなどをテーマに、70年以上の創作活動を続ける。大阪芸術大学教授として後進の育成にも貢献した。第7回昭和会展昭和会賞受賞。大阪府市民表彰文化功労、宝塚市市民文化賞受賞。

Tsukasa TSUJI



Takarazuka Arts Center

Lumen Digital Installation



Keizo MATSUI



松井桂三

1946-。広島県生まれ。グラフィックデザイナー。政府広報や関西国際空港(株)のロゴマーク。高円宮妃殿下写真展のための各種デザイン。アップル社の基本パッケージデザインシステム構築(白箱)。ロート製菓[肌ラボ]のロゴやパッケージなど。世界各地の国際コンペでグランプリ、金賞、一等賞、東京ADC賞ほか国内外で受賞多数。各国のコンペの国際審査員に招聘される。東京アートディレクターズクラブ会員。

宮本佳明

1961-。兵庫県宝塚市生まれ。建築家、宮本佳明建築設計事務所主宰、大阪市立大学大学院教授。主な作品に、第6回ヴェネツィア・ビエンナーレ建築展「震災の亀裂」(金獅子賞)、『ゼンカイ』ハウス(JCDデザイン賞ジャン・ヌーベル賞、JIA新人賞)、『クローバーハウス』(日本建築家協会賞)、『ハンカイ』ハウス(JCDデザイン賞金賞)、『澄心寺庫裏』(日本建築学会作品選奨)など。

Katsuhiro MIYAMOTO



「澄心寺庫裏」©Takumi Ota

ギャラリートーク

出品作家による作品解説を行います。貴重な機会をお見逃しなく。

- 1 松井桂三 2020年4月25日(土) 13:30~13:45
- 2 小清水漸 2020年5月2日(土) 13:30~13:45
- 3 宮本佳明 2020年5月9日(土) 13:30~13:45
- 4 中辻悦子 2020年5月16日(土) 13:30~14:00
- 5 辻司 2020年5月31日(日) 13:30~14:00

PARTNERS SALON パートナーズサロン
14:00~16:00 会場 ガーデンハウス

パートナーズサロンは、パートナー(有料会員)のみ参加可能なイベント。展示内容をより深く理解し、文化芸術への関心を高めるために、出品作家と当館館長によるトークショーを開催します。

*パートナーについて、詳しくはホームページをご覧ください。

- 1 松井桂三×加藤義夫 2020年4月25日(土)
- 2 小清水漸×加藤義夫 2020年5月2日(土)
- 3 宮本佳明×加藤義夫 2020年5月9日(土)

同時開催

ウィルキンソンの歴史 宝塚発祥のウィルキンソン(炭酸飲料)の歴史をたどります。
会場 サブギャラリー
監修 鈴木 博 協力 宝塚市立中央図書館、アサヒ飲料株式会社

会期中のイベント

オープンガーデンフェスタ連携事業「たからの庭」
2020年5月16日(土)▶5月17日(日) 会場 庭園